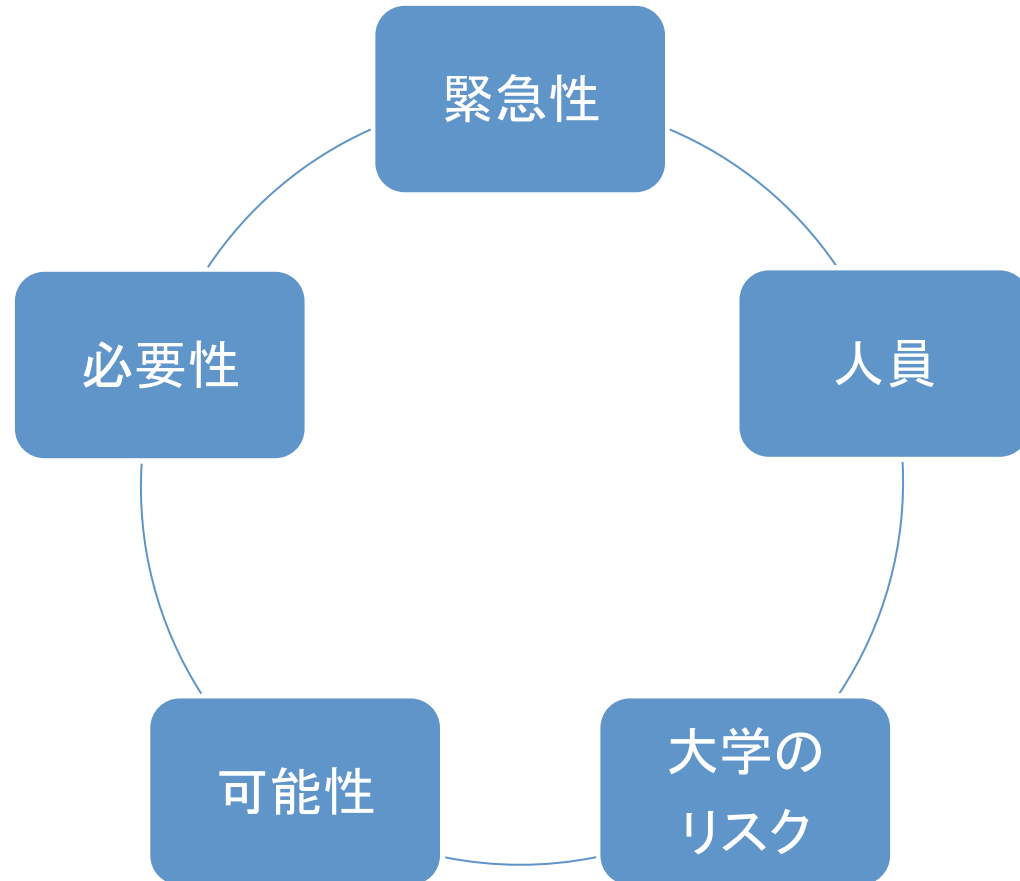


テンプル大学ジャパンキャンパス

米国大学の事例から

学生サービス部 ワークショップ

ワークショップの課題1: どこまで対応・支援するか？



どこまで対応・支援するか？

- 病気になった時
- アパート探し・大家とのトラブル
- 警察とのトラブル
- 不登校が判明した時
- メンタルヘルスの問題がある時
- 日常生活における支援

ワークショップの課題2:

異文化理解

カルチャーショックに対する心構え

1. 日本社会における主な慣習
2. ホストファミリーの期待、ファミリーとのコミュニケーションのとり方
3. 大学が提供するセーフティネット

問題が起きた時に

1. 学生が視野を広げられるようにコーチングする
2. 日本社会の価値観の理解を促す

ワークショップ課題3:

国際交流

1. 自分の大学内でできること
2. 他の大学と連携して、できること
3. 大学が所在する地域と連携して、できること
4. その他(寮を通して、イベントの実施など)